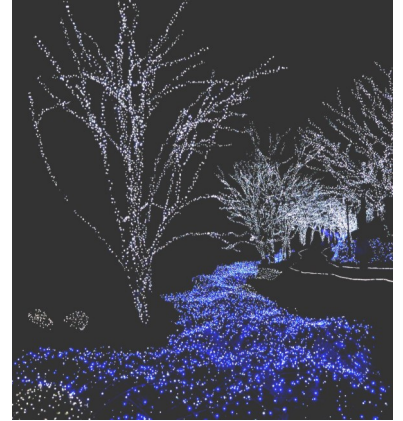


NPO法人 京都丹波・丹後ネットワーク

ハイライト:

- NPOからPR (NPO法人 奥榎原きばろう会)
- 鳥獣害を考える ～里山を持続させるために～
- 三和町民大学開校！！～皆で学ぼう！みわ町民大学～



琴滝 冬ほたる

NPO法人 丹波未来研究会により、今年は12月7日から開催

イベント情報・セミナー情報 詳細は直接お問い合わせください！

<12月以降のイベント>

● 企業とNPO協働のフェスタ

日時：12月7日(金) 13:00～

参加費：無料

会場：福知山・三段池公園総合体育館サブアリーナ

概要：NPOと企業のマッチングイベント⇒NPO等がブース出展とプレゼンテーションを行うことにより企業等にPRを行い、マッチングの場を設け、コラボレーションのきっかけづくりをお手伝いするイベントです。

主催：一般社団法人 CSRプラットフォーム京都

NPO法人 京都丹波・丹後ネットワーク

お問い合わせ先：0773-45-3507 (担当：森田)

※ すでにブース出展の募集は終了しておりますが、他の地域・分野のNPOや企業と交流していただくチャンスです。ぜひご参加を！

● 里山交流会 ～綾部編：里山発信力をUPしよう！！～

日時：12月13日(木) 18:00～

参加費：無料

会場：里山ねっと・あやべ

概要：●ハタノワタル様による講演 「ハタノ流ローカルデザイン」
～地域と人々のメッセージをかたちに～

●里山ねっと・あやべからひと言

●グループワーク

主催：NPO法人 京都丹波・丹後ネットワーク

協力：NPO法人 里山ねっと・あやべ

お問い合わせ先：0773-45-3507 (担当：森田)

※ この交流会を通して、里山の様々な課題を共有し、打開策を互いに学び合えるような場になればと思っています。

※ 里山の活性化にご興味のある方ならだれでも参加していただけます。出来れば事前にご連絡下さいね！

目次

イベント・セミナー情報 1

NPOからPR 2
奥榎原きばろう会

鳥獣害を考える 2
～里山を持続させるために～

三和町民大学開校！！ 3
～皆で学ぼう！みわ町民大学～

京都丹波・丹後ネットワークよりお知らせ 4

とっておきご紹介 4
～木楽里(きらり)～

榎原神社の練込

榎原神社の祭礼の始まりは安政九年(1859)と伝えられ、戦争などによる中断を挟み、昭和60年から三年に一度、一〇月一九日の祭礼時にこの練込が行われている。

構成は、大太鼓締太鼓、笛音頭で、大太鼓(おうち)は、20歳くらいの地区内の長男、締太鼓(しめ)は中学生の男子が勤め、笛音頭にあわせて太鼓を叩き舞う。

少子高齢化により祭礼の形も変わってきているが、伝統ある練込がこれからも守られていくことを願わずにはられない。

NPOからPR⑥ 奥榎原さばろう会

少子高齢化が進行する中で、生まれ育った故郷が廃れていくのは悲しく寂しいものです。団塊世代前後の者数名が集まる度に「自分の動ける間はなんとかしたい。」と話題になり、まずは住民に対する「アンケート」を実施しました。その結果、高齢化による農地や里山の荒廃、買い物や通院の交通等々たくさんの課題があることが分かりました。そして、どうすればよいのか話し合いを重ねた結果、平成19年1月に「NPO法人」を立ち上げました。



- 活動は、①会員の農地の保全管理に関する作業受託など
②保全管理のための農作物の特産化（ヤマブキ、蕎麦、餅米等）
③特産品の開発に関する学習会、講習会等
④里山の保全管理事業
⑤地域の住環境の美化・保全管理活動 などです。

メンバーはみな農業をしながらになりますので、農繁期などは活動に支障をきたすこともありますが、私たちの誇れる故郷がこれからも美しい姿を保つよう、若い人たちを巻き込んで頑張っていきたいと思っています。

住所 〒620-0963 福知山市字榎原2668番地 （大槻 勝彦理事長）
TEL 0773-34-0707

<取材を通してひと言>

少子高齢化がもたらす様々な課題に、団塊の世代が中心となって結成された奥榎原さばろう会。里山の抱える課題はどこも同じ。獣害のこと、田畑・山林など里山の保全、空き家対策等々…。

私自身も里山に生まれ、誰よりも故郷に対する思いは深いつもりです。里山に生きる様々な人たちの力を結集して、里山がいつまでも本来の姿であり続けてほしいと切に感じました。

鳥獣害を考える ～里山を持続させるために～

京都府北部でも鳥獣被害が深刻さを増している。既に京都府での被害金額は7億円を超え、福知山市だけをみても5000万円を超えているような現状である。

また、こうした直接被害に加え、収穫間際に被害を受けることで営農意欲の減退をもたらすなど、里山の暮らしにも深刻な影響を与えている。

鳥獣行政は「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律（鳥獣保護法）」により、「鳥獣の保護」と「狩猟の適正化」を基本に行われているため、被害が深刻化しても農業者側の対応はどうしても後手に回ることが多かった。そのため平成20年に「鳥獣被害防止特別措置法」（特措法）が制定された。

里山で農業に従事する人だけで、鳥獣被害対策を行うには限界があり、市や京都府、国の一体となった対策が取られることが重要であると思う。

その為には窓口の一本化や情報を誰でも簡単に取ることが出来るようにするなどの、抜本的な対策が急務ではないだろうか。

先日、地元の猟師さんとお話する機会があったが、ただ鳥獣を駆除するだけでなく、それをいかに有効利用するかも一緒に考えていく必要があり、またきちんとした知識を持った若い猟師を育てていかなくてはならないとの事であった。

農業だけの視点では無く、林業や環境、人財の育成などを合わせて考えた対策が必要なのではないだろうか。

三和町民大学開校！！～皆で学ぼう！ みわ町民大学～

みわ町民大学の開校式が13日、三和荘ホールで開かれ三和町内を中心に85人が参加、桂明宏・京都府立大学准教授の開校記念講演をお聴きしました。

町民大学は、三和地域の抱える課題と打開策を互いに学び、新たな町おこしへとつなげていく場を作ろうと、NPO法人丹波みわが町内有志に呼びかけ、20代から80歳代という幅広い年齢層の46人で立ち上げた実行委員会で開催。来年3月までを第1期として、毎月1回の講座を開いていきます。

開校式では、実行委員長の河内一郎・NPO丹波・みわ専務理事が、開校の経緯を紹介しながら、人口推計データをもとに三和地域の現状について報告。このあと桂准教授が「農山村の地域再生の道を探る」をテーマに講演し、各地の事例を紹介しながら「最大の地域資源は人および人と人が繋がる力」「団結力と挑戦力を両立する工夫」など、地域づくりにとって大切なポイントを分かりやすく伝えてくれました。

講演には、三和町内から59人、京丹后市、亀岡市、丹波市、福知山市内など町外からも22人の参加があり、講演後の質疑応答では、「地域外への情報発信方法」「女性参加を促す村おこし」などの質問が出たほか、「講演を聴かせてもらい、これまで漠然としか考えられなかった地域づくりのイメージがすっきりした」と感想を話す方もいらっしゃいました。

京都北部では、三和だけでなくどの地域においても少子高齢化が進み、未来図が描け切れない状況の中、「あなたはどうか 10年後の地域」をコンセプトにこのような先進的な取り組みがなされたことは、それぞれの地域にとっても励みになると同時に、三和に負けてたまるかという思いもわいてくるのではないのでしょうか。

それぞれの地域が切磋琢磨し、ある時は一緒になってこの京都北部の地を盛り上げていければ、都会に出た若い人たちや田舎暮らしをしてみたいと思っている人たちが自然に集まってくるような魅力的な地になっていくような気がします。

3月までのカリキュラムは次の通りです。

- 12月14日（金）三和の魅力再発見…1ターン者4氏（農家民泊「みわファーム」旭氏、「ふるまや」沢田氏、「ピッツェリア・カイラ」大平氏）、「田舎暮らしナビゲーター」垣内氏）によるワークショップ
- 1月26日（土）市民をど真ん中に…松山正治福知山市長による講演
- 2月17日（日）農業経営と都市間交流…農事組合法人かわい（土佐理事）、（株）ダイアスポラ（鎌田代表）、すこやか友渕交流会（高根会長）3者によるワークショップ
- 2月24日（日）映画上映…人生、いろいろ（上勝町「葉っぱビジネス」をモデルに地域おこしの可能性を探る
- 3月10日（日）産直・加工センター建設計画…成美大・滋野准教授を中心にしたシンポジウム
- 3月31日（日）丹波みわコトおこし“軽トラ市”

<取材を通してひと言>

私たちは昨年の丹波みわコトおこしから始まって、三和が若者を巻き込んで一つになり、活性化していく姿を見てきました。

そして今回、この町民大学が新たな展開を生み出すのだと確信しています。そして、ここ京都北部の里山のモデルケースとして、さらにさらに大きなうねりにするために、私達も協力していきたいと思っています。。



NPO法人 京都丹波・丹後ネットワーク

NPO法人 京都丹波・丹後ネットワークからひと言。

私たちはNPO法人だからこそ出来る新たなネットワーク作りを京都府の協力を得ながら実現していきたいと思っています。

また、IT（フェイスブックの使い方・活用の仕方 HP・ブログの作成・更新など）は何人かが集まれば実施致しますので、お気軽にご相談ください。（出張相談もOK、料金は無料です）

〒620-0052

福知山市昭和町77番地

電話・FAX 0773-45-3507

Email: tantan@kyoto-tantan.net

ホームページもご覧ください

<http://www.kyoto-tantan.net/>

企業・大学・行政と連携して、地域の活性化を実現しましょう！！

編集後記

いよいよ12月、今年は秋が一気に駆け抜けて冬が来たような気がします。里山で活躍されている方達とゆっくりお話できるのはこの時期しかありませんので、雪道には注意しながら色々なお話を聞きに回りたいと思います。

京都たんたんだよりでは、NPO等団体様のご紹介、素敵なお店、素敵な風景などを募集しておりますとともに、記事に掲載の団体様とのコーディネートも考えております。当NPOまで是非ご連絡ください。

京都丹波・丹後 とっておきのご紹介

素敵なお店&素敵な風景と出会える場所

今回は奥榎原きばろう会の理事大槻さんが経営されています素敵なお店。木楽里さんをご紹介します。事前に予約しておけば、そば打ち体験もできますよ！！ イベントや会議などにも利用可能です。

アトリエ喫茶 木楽里（きらり）

ここきらりは過疎化が進む地域の交流拠点にと開設されたもので、人びとが気軽に集まって語り合い、手工芸や音楽も楽しめる憩いの空間にしたいとの願いが込められている。

木のぬくもりが感じられる素敵なお店には、絵手紙の作品などを展示。

実はこれらはここのご主人である大槻さんが開く絵手紙、籐、蔓細工教室の生徒さんの作品だという。このほかにも手打ちそばの体験を行うなど、なんとも多才である。

また、奥様の恵子さん手作りのケーキはなんとも

やさしい大人の味で、おもてなしの心にあふれていた。

コーヒーはなんと1杯300円。

里山の喫茶店での癒しのひとときをぜひ味わっていただきたい。

場所：福知山市奥榎原2668

TEL：0773-34-0707

営業時間：土日の10：00～17：00

